

平成23年4月1日
財団法人 航空医学研究センター

航空医学研究センター専務理事選考経過・任命理由

本法人の使命は、航空機乗組員の航空身体検査の実施、航空に関する医学的な研究等の推進、航空医学等に関する知識の普及及び啓蒙を図り、もって民間航空の安全に資することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、当センターの重要な経営方針の立案に参画するとともに、事務局、検査証明部、研究・指導部の業務を所掌、統括し、関係機関・団体との連携を図りつつ、事業の改革・改善、業務運営の効率化等に的確に取り組むことが求められる。

専務理事の選考に当たっては、評議員会において津久井一平氏を理事に選任し、その後、理事の互選により専務理事に選任したところである。

任命理由は、同人は、昭和59年7月から平成2年3月まで当センターの研究・指導部長として、また、平成11年8月から平成22年9月まで所長（理事）として当センターに在職し、航空医学に関する業務を統括し、かつ当センターの経営管理にも通暁するなど、理事に必要とされる能力、経験が十分にあり、本法人の経営運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどにより、評議員会及び理事会において専務理事に相応しいと判断されたことによるものである。特に同人は、航空医学に精通しているとともに、医学界での豊富な活動実績及び人脈を有するという強みをもっており、本法人の専務理事として期待できるものと認められることによるものである。